

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 水島工業 高等学校		
実践場面	地域企業等との交流会		
実践日時（時期）	令和7年11月26日（水）		
対象生徒（学年）	機械科 2年生 78名		
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ <input checked="" type="checkbox"/> その他（協同組合ウイングバレイ会員企業及び学校と繋がりのある企業）		
学びの分類	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他		

実践の内容

【現状】

- ・高校生にとって、地域の産業を知るきっかけをつくり、進路決定の参考にするとともに、産業界の考え方や思いに触れることは大切で、自身の考え方の変化や気付きを促すことにつながる。
- ・地域企業等にとっても、高校生の意見や思いを聴き、工業高校生のニーズや思考の実態を知ることで、企業での人材育成や業務改善等につなげることができる。
- ・このようなことを目的に、昨年度から地域連携型のキャリア教育として「地域企業等との交流会」を開催している。

【実践内容】

- ・協同組合ウイングバレイ会員企業及び学校との繋がりから参加を依頼した企業19社1校（午前13社・午後14社1校、両方参加有り）の社員35名が来校し、機械科2年生（午前はA組、午後はB組）との交流会を開催した。

※1校は技術専門校

- ・生徒は4～5名ずつのグループに分かれ、それぞれのグループに企業の社員も2～3名（会社は別々）が加わり、グループディスカッションを行った。
- ・初めに自己紹介やアイスブレイクを30分ほど行った後、今回は「どんな会社で働きたいか、どんな人と働きたいか？」というテーマで協議を行った。
- ・各グループ、初めは生徒に緊張が見られ、発言も少なかつたが、企業の方のエスコートもあり、徐々に緊張もほぐれ、生徒から活発な意見が出るようになった。
- ・各グループには付箋と模造紙を準備し、出た意見を模造紙上にまとめ、最後には全体共有として、各グループが前に出て、協議内容を発表した。



実践による効果等

- ・生徒からは、まとめの発表で「進路について皆で考えることができた」「今日の話を参考に今後の進路を考えていきたい」といった発言があり、事後アンケートの「今後の進路選択に役立ったか」の質問に対して「役に立った」「まあ役に立った」の回答割合が94.3%であった。
- ・企業からも「生徒の声を聞くことができ、大変参考になった」という声とともに、事後アンケートの「交流会はどうだったか」の質問に対してほとんどの企業が「良かった」と回答した。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）